

広報

せいざんかい

2008

第1号

発行
平成20年5月20日

泚山会の由来

法人初代理事長金沢光男氏が柏崎市佐水の地に最初の特別養護老人ホームを建設する際、社会福祉法人を^{せいざんかい}泚山会と命名しました。「水が澄んで清らかであり、山が青く景色が美しい。」という意味です。



特別養護老人ホーム くじらなみ 全景

社会福祉法人 ^{せいざんかい} 泚山会

(私達法人は、「地域に開かれた・地域に愛される・地域に信頼される」をめざしています)

柏柳の里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1502
柏崎市高柳町岡野町2254-1
TEL 0257-41-2202 FAX 41-2203

いこいの里

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1115 柏崎市大字佐水3140(法人本部)
TEL 0257-29-3800 FAX 29-3350

柏崎市南地域包括支援センター
TEL 0257-31-4515 FAX 31-4525

くじらなみ

- 特別養護老人ホーム(長期・短期)

〒945-0855
柏崎市鯨波2丁目4番3号
TEL 0257-32-1120 FAX 32-1121

沿革

平成				
6. 6. 28	県	社会福祉法人	設立認可	
7. 10. 1	特別養護老人ホーム	いこいの里	開所 (長期80名、短期30名、デイサービス15名)	
9. 4. 1	特別養護老人ホーム	柏柳の里	開所 (長期50名、短期20名、デイサービス15名)	
12. 4. 1	いこいの里	デイサービス	20名に増員	
13. 4. 1	"	"	25名に増員	
15. 4. 1	柏柳の里	デイサービス	25名に増員	
16. 4. 1	いこいの里	通年営業開始		
6. 18	柏崎市	公募による新規特養(くじらなみ)	提案 採択	
17. 5. 1	特別養護老人ホーム	柏柳の里	短期増床 (ユニット20床)開所	
17. 10. 1	特別養護老人ホーム	いこいの里	10周年記念式典	
18. 2.	新潟県	当初予算	施設明示(くじらなみ)	
4. 1	柏崎市から南地域包括支援センター	の(いこいの里)委託業務開始		
19. 4. 1	特別養護老人ホーム	柏柳の里	10周年記念式典	
5. 31	特別養護老人ホーム	くじらなみ	工事完成	
6. 23~24	"	"	一般公開	
6. 27	"	"	竣工式	
7. 1	"	"	開所(長期80名、短期20名)	
13	"	くじらなみ	一部被災(20/3復旧)	

社会福祉法人泚山会は、初代金沢理事長のもと平成六年六月県の設立認可を受け誕生しました。平成七年十月特別養護老人ホーム「いこいの里」、同九年四月同柏柳の里、また同十九年七月同くじらなみを地域のお力をいただき開所いたしました。いままで施設ごとに取り組んできました広報紙をこの機にひとつにまとめ、法人が発行主体となつて地域の皆様にお届けすることにいたしました。

社会福祉法人泚山会は「地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される」を目指すとともに基本方針は「利用者の尊厳に配慮した良質かつ安心安全なサービス

地域に開かれた法人をめざして

の提供」を目標にしています。お陰様で第一号のいこいの里は十四年目を迎え、また昨年七月一日開所のくじらなみは一部被災にあいましたが生活には支障がなく乗りこえ、近く一年を迎えます。この広報紙を通じて地域の皆様に三施設の取り組みや様子をお届けし、地域住民との架け橋、共通の広場になればと思っております。町内会を通じ回覧でお知らせしたいと思っております。

地域に根ざし密着した取り組みとなるよう役員一同力をあわせてがんばります。今後ともよろしくお願いいたします。



柏柳の里10周年記念式(19.4.1)



いこいの里10周年記念式ボランティアの皆様(17.10.1)

この広報誌が第一号となります。学問研究の分野では以前より深い、視野の狭い専門化の弊害が指摘され「分化と統合」ということが重視されるようになりました。

医療では総合診療科が生まれ、若い研修医に人気が集まっています。三つの特養では医療、介護を一体化、各施設の協調と統合の考えに基に運営をしております。

国の医療福祉など社会保障に対する予算は驚くほど削減され、いまや崩壊の危機に瀕しています。一度崩壊し再生した英国に習い私たちは声を上げて政策の変更を国に働きかけねばならないと思っております。



福祉施設の

分化と統合

理事長

星山 圭鋺

昨年七月特養「くじらなみ」が開設され社会福祉法人「泚山会」は、いこいの里、柏柳の里を合わせ三つの特養を持つことになりました。今後はそれぞれの施設の設立経緯、立地条件、入所者の希望、特徴を生かしその人らしい尊厳と慣れ親しんだ所で生活できるようにお手伝いしたいと思います。

さて市民と施設、職員の交流の架け橋であった広報誌は、いこい、柏柳の里の二つがありました。が今回より特養「くじらなみ」が加わったので新たに統一し「せいざんかい」として発足することになりました。この広報誌が第一号となります。学問研究の分野では以前より深い、視野の狭い専門化の弊害が指摘され「分化と統合」ということが重視されるようになりました。

くじらなみ

あなたらしい生活を大切に



園長 矢嶋 文博

「特養くじらなみ」は、昨年七月一日、当法人において第三番の施設（柏崎市内では、初めての全室個室ユニット型施設）としてオープンいたしました。

お蔭様で、ご利用者を始め、ご家族、地域並びに関係機関の皆さまに支えられて、ようやく一年が過ぎようとしております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

施設の理念を、「あなたらしい生活を大切にします！」として、少しでも理念に近づけるよう、日々のケアに当たっております。

施設を利用されるご利用者、お一人おひとりの個性や生活のリズムに沿ったケアに心がけ、出来る限りお年寄りが、その人らしい生活を維持いただけるよう、作業療法士と機能訓練担当職員を採用し、機能訓練の充実も図ってまいりたいと考えております。

オープン二年目となる今年度は昨年度にも増して、全職員が気持ちを引締め一丸となつてご利用者を支援してまいりますので、今後ともご指導並びにご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

職員の状況

オープン当初は、六十六名の職員でスタートしましたが、この四月から八十八名の職員体制となり、各ユニット毎に介護職員を五名以上となるように配置し、ご利用者からよりご満足の頂けるサービスの提供に努めてまいります。

職員内訳

- ・園長 1名
- ・事務員 3名
- ・生活相談員 3名
- ・看護職員 5名
- ・機能訓練指導員等 2名
- ・介護職員 55名
- ・運転介助員 2名
- ・管理栄養士 1名
- ・調理員 7名
- ・用務員 3名
- ・リネン・洗濯員 3名
- ・警備員 3名



今日から始まる仕事への期待に胸膨らませて スタッフ一同
平成19年7月1日開所 玄関前

施設概要

柏崎市内の施設としては、初めてとなる、全室個室のユニット型施設です。一階に管理部門とショートステイ20床の部屋があり、また、二階と三階にはそれぞれ40床ずつ、計80床の長期入所の部屋があります。

四月一日現在の利用状況は、長期入所は80人(100%)、ショートステイについては15名(75%)のご利用をいただいております。

この施設は、従来の施設と比較して、サービス提供料金及びお部屋代金は、少し高めの設定となっております。個人のプライバシーを守り、施設を利用される皆さまから、より快適に安心して暮らしていただくサービスを提供します。

- 名称
特別養護老人ホーム くじらなみ
- 事業開始
長期 (80床) 平成19年 7月 1日
ショート (20床) 平成19年 8月 1日
- 敷地 10,679.58㎡
- 建物 鉄筋コンクリート3階建
6,279.93㎡



○食堂・リビング
各ユニット
10室



○居室 (13.2㎡以上)
全室個室
長期
ショート
2080
100
室室



○地域交流室兼用
機能訓練室
1室

地域の皆様、会議等にご利用下さい。



○特殊浴槽



4台



○ウォーカーベッド
○個人浴槽



7台 3台

利用者の声

昨年七月以来、長期入所及びショートステイをご利用されている皆さまから、施設の印象や職員の対応、食事の内容について、お話を聞きました。

長期入居者 Y・A
地震で辛い思いをしたのですが、ユニットの皆さんと楽しくおしゃべりしたり、職員の皆さんから親切にしてくださいました。立ち直ることができました。有難うございます。食事は美味しく頂いています。ですが、海に近いせいか、魚料理が多いかなと思います。たまには肉もいいかなあ。

これからも、よろしく願います。

長期入居者 Y・I
私は、朝目覚めると部屋から米山を眺めます。今の時期は残雪があり、朝日が昇ると米山が輝いて見えます。また、リビングへ向うと日本海が見え、雄大さを感じます。この四季を通じて素晴らしい米山や日本海を見ることで、今日も一日元気に過ごしていこうという気持ちになります。

ショートステイ利用者
きれいで、快適で、一人ひとりの利用者に合わせてくれて、やさしくて気持ちよく過ごさせてもらっています。

職員さんもうろろと大変でしょうけど、これからもよろしくお願ひします。

新規事業への取組み

機能訓練担当職員を採用し、利用者の機能訓練の充実を図っています。また介護予防の観点からも、導入したパワーリハビリ機器六台一セツトを活用し、新規事業として地域支援事業についても、市の委託を受けてできるだけ早い時期にご利用いただけるよう準備中です。



hip ABD/ADD
・立位、歩行の安定
・骨盤、股関節周囲(特に側方)の可動性と安定性



水平レグプレス
・立ち上がり、着座動作の改善
・立位、歩行の安定



レグEXT
・ひざ関節周囲の安定性と可動性の改善
・立位、歩行の安定



トーンEXT/FLEX
・立ち上がり、着座動作の改善
・姿勢の改善



ローイングMF
・胸部可動性の改善
・姿勢の改善(肩甲骨周囲、下部体幹)



チェストプレス
・持ち上げる動作の改善
・肩、肘関節周囲の安定性と可動性
・胸部可動性の改善



中央が石像 右から3人目が作者

施設の庭に 石像の設置

昨年十月ルーマニア出身でフランス在住の石像彫刻家アレキサンドル・パラシキープ氏制作による石像「The Wiseman」が施設中庭に設置されました。当法人の星山理事長が、当初特養くじらなみ完成記念に学生の卒業作品を設置できないかと思ひ、新大教育人間科学部の郷教授を紹介したところ、芸術環境講座の郷教授を紹介され、新潟市西区で石像を公開制作するアレキサンドル氏の作品はどうかと勧められ、作品設置に至ったものです。
ご尽力頂いた新潟大学教育人間科学部郷教授からは石材選びから設置までの説明と、星山理事長の作品に対する思いを
ご紹介します。

賢者の像(The Wiseman)

星山 圭鉦

ゆったりと腰を下ろし、曲げた腿の上に肘をつき両手で頬を挟んだ姿で、水平線の彼方に光を失いながら沈み行く夕日をじっと見つめている。長い人生で培った知恵を持ったお年寄り、つまり賢者は過ぎし人生を回想しているようにも見える。ロダンの「考える人」に似ていないでもない。

アレキサンドル・パラシキープ氏は、わざわざ柏崎の現地を視察に来て施設の特徴、周辺の環境を調査し、最も似合いの作品を作ってくれた。本当に感謝申し上げている。いつの日かニースに近いプロバンス・グラスにある彼のアトリエを見学できるのを楽しみにしている。(後略)

新潟県医師会報より抜粋

アーティスト・イン・レジデンス

(前略)

通常石材運びとプランニング、環境調査は真剣に時間をかけるものだが、アレキサンドル・パラシキープ氏は前もって決めていたことを単にざらりと確認するだけで終わった。等身大の人間がほお杖を付いて腰を下ろすポーズにちょうど良い石。そしてそれを設置するのに申し分ない環境。原始彫刻のように簡略化されたポーズの人物像は、実は1年以上も前から模型制作で試行錯誤して温めていたものらしく、とにかく彼はそれを造りたかった。しかし日本海に沈む夕日を正面にした環境に設置することをいかにも予知していたかのような収まり方である。もともと制作したいプランと環境が旨い具合に一致したことは、双方にとって幸福であった。(後略)

新潟大学 芸術環境講座 郷教授
NISHIKU DE ART あつまる ひろまる より抜粋

いこいの里

さらに磨きを



園長 山崎 昇司

まわりの緑も色濃くなりました。おかげ様で地域の皆様に育ていただき十四年目を迎えます。いまままで積みあげてきたものをさらに磨き、いこいの里らしさを創ってまいります。

具体的には

- ①利用者主体のサービスの提供。
- ②安全で快適なサービスの提供。
- ③専門性をもったサービスの提供。それぞれ追求めざします。職員の職場研修の充実。とりわけ接遇の向上、ご家族への情報提供をしつかりと。
- ④地域との連携をさらに深めます。ボランティアの受け入れ、実習研修の受け入れ。
- ⑤おいしい食事づくり。生活の根源です。おいしい食事づくりを追求します。

地道ですが、安心・安全を最大の目標にして、チームワークと笑顔で取り組んでまいります。それがご利用者への一番のサービスと思っております。「磨きれば光なし」の精神で施設全体が輝きを増すよう職員一同励む所存です。何卒よろしく願いいたします。



ピアノ講師の牧口様による演奏と歌唱指導(20. 5. 7)



4月26日の観桜会にボランティアとしてかけつけていただいた番神太鼓のみなさん

職員の資質向上を めざして

研修委員会

いこいの里も開所して十四年目を迎えました。利用者の高齢化に加え、身体の高齢化が進むなか、職員が学ぶべき課題はたくさんあります。介護技術の向上だけでなく、看取り介護や、虐待の防止など精神的な面の育成が重要となってきました。今年度はそれらの内容を盛り込みながら、さらに接遇面を強化していきたい。

○今年度職員研修の主な予定を
紹介します。

- ・接遇の向上
- ・看取り介護
- ・虐待防止
- ・認知症の理解
- ・感染症への対応
- ・救急法(心肺蘇生等)
- ・職員の健康管理と精神衛生
など

より良い施設を目指すため、職員一人ひとりのさらなるレベルアップを図っていきます。

平成二十年度 運営方針

〈基本理念〉

- 利用者から喜ばれ、家族から信頼され、地域から選ばれ、施設をめざします。
- 一、利用者主体のサービスの提供。利用者一人ひとりの尊厳を守り、ニーズや状況に応じたサービスを適切に提供します。
- 二、安全で快適なサービスの提供。介護事故防止、個人情報保護、苦情、要望に適切に対処します。
- 三、専門性をもったサービスの提供。職員の専門性を高め、より質の高いサービス提供に向けた取り組みを行います。
- 四、地域との連携。地域の高齢者福祉の拠点として施設の機能を発揮し、地域福祉に貢献します。ボランティアの受け入れ、行事の参加を通じて施設と地域の相互理解を深めます。
- 五、健康管理。日常の健康管理を大切にし、感染予防体制、平常時、発生時の迅速適切な対応を図ります。
- 六、給食サービス。食べる楽しみを重視し、おいしい食事の提供をめざします。

柏柳の里

四月一日付で園長が交替となりました。よろしく願います。

地域に根ざして



園長 佐藤 澄江

このたび、柏柳の園長を拝命いたしました。微力ではありますが、精一杯努力してまいりますので、前園長と同様によりしくお願いいたします。施設理念である「地域に根ざした豊かな介護を提供します。」の実現に向け、利用されるご本人ができることを大切に、自分らしい生活ができるよう支援します。また地域の特性に応じて、柔軟性に富んだサービスが提供できるよう体制を整備したいと考えています。地域の方々のコミュニケーションを大切に、一歩づつ歩んでいきたいと考えています。私自身も看護職という経験を生かし、施設での生活を充実していただけるよう、職員一丸となって研鑽を積み重ねてまいりますのでご指導ご支援願います。



二度の震災を乗り越え



前園長 小黒 みねよ

里山の萌黄色が十色を数えられるような季節に身を置く毎日です。三月末をもって定年退職をいたしました。関係各位様の皆様には、在職中は大変お世話になりました事厚くお礼申し上げます。振り返ってみますと、七年前介護保険が導入され、施設が一番変革を求められた時期でもありました。どうにかこうにか施設長を務めあげることが出来ました事は、福祉の現場の研修制度の充実を挙げることが出来ます。県老協協の職種仕事に計画される研修、私自身も施設長研修で報告される情報は、施設の方向性を決定する指針にさせて頂きました。そして何よりも二度の地震や水害を通し、組織力の強さを心から感じました。今後、少子・高齢化問題は、医療、介護現場を益々厳しい状況に招きますが、地域からは安心・頼りがいを施設に求めると思えます。これからも施設サービスの多様性を生かし、がんばる柏柳の里であってください。一市民として願っています。

柏柳の里は介護予防にも取り組んでいます

介護予防の取り組みとして、柏柳の里では、高齢者向けの機械を使った運動(パワーリハビリ)に取り組んでいます。

●パワーリハビリとは？

機械を使った軽い負荷での運動で、使わなくなった筋肉を万篇なく動かし、生活動作を改善することが目的です。無理なく安全に運動することができ、継続することで、今まで苦勞していた身の回りの動作が楽になるなどの変化が見られてきます。また、動作に自信がつくことで、表情や行動に良い変化が生まれてくることも、大きな特徴です。

●参加された利用者様の声

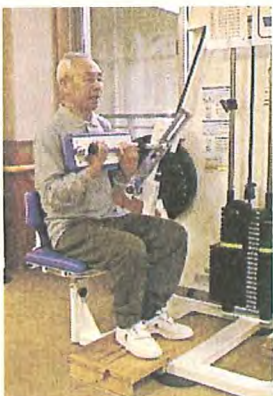
- ・杖や押し車を使わずに歩けるようになった。
- ・朝の洗顔が立つてできるようになった。
- ・草取りやクワを持って畑仕事ができるようになった。
- ・家事動作(洗濯物を干す・台所での料理をする)ができるようになった。
- ・ などなど...

柏柳の里では、今までの経験を基に、昨年度より柏崎市の地域支援事業の委託を受け、介護

予防事業を開始しました。現在までに、約三十名の方が修了されており、今年度も年四回のコースを予定しております。四月コースはおかげ様で定員一杯となり、利用者様も一生懸命になつて運動に取り組まれております。

私たち担当職員も「良くなつてこれができるようになったよ」という喜びの声や、機械の運動が日々上達する姿にとてもうれしく、励みになっております。これからも関係事業所との協力のもと、地域に根ざした良いサービスが提供できるように努めます。

また、長期入所・ショートステイ・デイサービスの利用者様につきましても、担当職員が連携し、より専門的に、そしてより充実した機能訓練を提供できるよう、取り組んでいきたい。



絵画のご寄贈



さる三月、市内大平在住の画家岩下尊弘画伯から絵画「峠の道」P一〇〇号の大作を特別養護老人ホームくじらなみへご寄贈いただきました。心から感謝申し上げます。玄関を入れて直ぐ左側の、エントランスホール、ギャラリーコーナーに展示しております。ご来園のりには是非ともご覧下さい。

こんにちは！ 南地域包括支援センターです！

問 地域包括支援センターって
どういうところなの？

答 地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者を介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から総合的に支えるために、柏崎市委託事業の高齢者総合相談窓口として、平成十八年四月、市内五カ所に開設されました。設置場所は、柏崎市を五つの日常生活圏域に分けて、東・西・南・北・中圏域とし、その圏域毎に一カ所づつセンターが設けられ、担当圏域の高齢者の方々への総合的な支援を行っています。担当職員は、保健・介護・福祉の各分野から、保健師あるいは看護師、主任ケアマネージャー、社会福祉士の三職種などの職員が配置されており、柏崎市と連携をとりながら、互いに力を合わせてチームとして対応させていただいております。高齢者に関する相談、心配ごとや悩み、健康・介護・福祉に関する事など、身近にあるセンターへ、どうぞお気軽にご相談ください。ぜひご利用ください。

お問い合わせ、ご相談はお気軽に… 相談は無料です。秘密は固く守られます。

名 称	担当地区 (コミュニティ)	設 置 場 所	連 絡 先
柏崎市中地域包括支援センター	比角、田尻、北鯖石	JA柏崎 旧田塚支店内	☎24-6715
柏崎市東地域包括支援センター	北条、南鯖石、中鯖石、高柳	善根(佐之久)担い手センター奥	☎31-2122
柏崎市西地域包括支援センター	中央、大洲、剣野、鯨波、米山、上米山	赤坂山デイサービスセンター内	☎20-1535
柏崎市南地域包括支援センター	半田、枇杷島、高田、上条、野田、別保、鶴川	いこいの里内	☎31-4515
柏崎市北地域包括支援センター	松波、荒浜、宮川、椎谷、西中通、中通、西山	なごみ荘内	☎24-4201

職員の募集について

平成二十一年度の職員採用について現在準備を進めております。詳細については次号(七月二十日号)でお知らせします。採用予定は、看護師二名、保健師一名(包括支援センターに従事)、生活相談員一名、介護職員五名です。その採用窓口はいこいの里内法人本部事務局です。詳細が決まりましたらホームページでもお知らせいたします。

編・集・後・記

若葉の緑が深みを増す季節となりました。くじらなみ開設を機に、従来いこいの里、柏柳の里の広報紙をひとつにまとめ「せいざんかい」を創刊しました。これが地域との架橋、広場にすればと思っております。編集事務局はいこいの里法人本部におき、今後ともわかりやすく、親しみのあるものに工夫してまいります。地域福祉は地域の力と想っております。私ども事業者はその役割を担い、地域住民と風通しのよい春風のような関係を築いていきたいと思います。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い致します。(本部事務局 山崎)

発行所 社会福祉法人 池山会
柏崎市大字佐水3140番地
電話 0257-29-3800
発行人 山崎昇司
広報 せいざんかい
平成20年 5月20日発行
(年4回発行 7/20、10/20、1/20)
印刷 南わかい印刷

〈ホームページの開設〉
平成19年11月からホームページを開設しましたのでご利用ください。
<http://www.fuku-seizankai.jp/>